

# ドジョウ養殖の産業革命『露地粗放養殖 屋内無泥養殖』

## ドジョウ養殖技術開発(平成23年度)

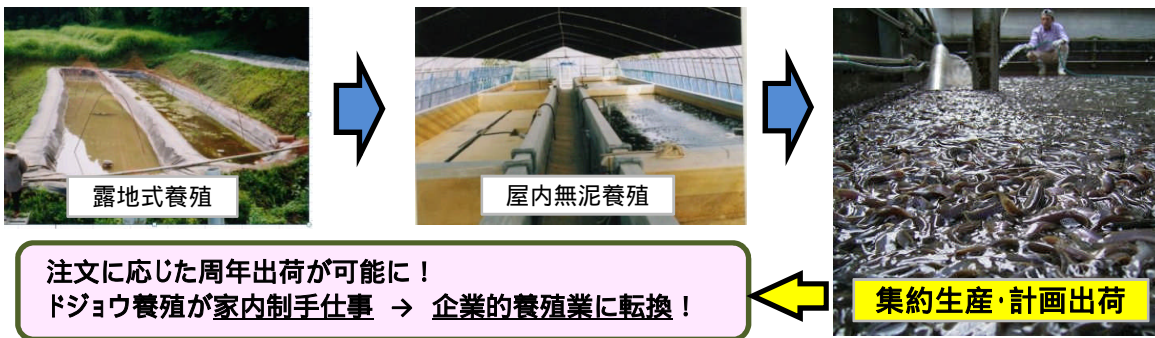
水産研究部 浅海・内水面グループ 内水面チーム

### 1. 研究の背景

ドジョウ養殖はかつて何度も全国的ブームが起こったが、一度も産業として定着しなかった。その最大の原因は水田を生産基盤としたため、計画的な生産出荷ができなかったことによる。また、集約的(高密度)生産を試みると、大量斃死が頻発した。大正時代から各県で養殖試験が行われてきたが、結局どの県からも見放され、現在においても牧歌的な養殖風景が典型的なドジョウ養殖である。

### 2. 研究成果の内容・普及のポイント

集約的生産ができない理由が、ドジョウの一般的な外部寄生虫「キロダケルス」の爆発的繁殖にあることを突き止め、種苗から出荷まで完全に外界と隔離した屋内で、地下水のみを使用することにより寄生虫を完全排除、水田養殖の100~200倍の密度での生産が可能に。

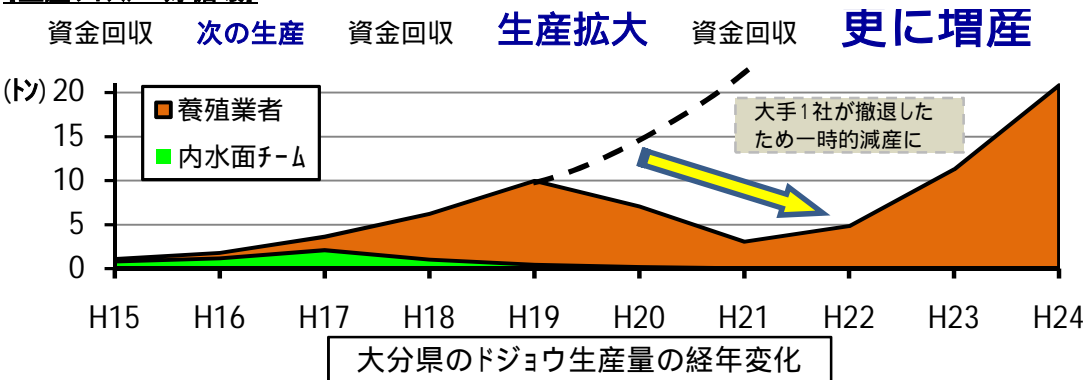


全く新しい養殖スタイル(ハンチャービジネス)であるため、生産者は多額の初期投資(設備建設)を要する上、販路が確立しておらず、生産に成功しても資金回収の目処が立っていない(生産サイクルが短いことが、雪だるま式に債務超過に陥りやすい)

内水面チームが困難な販路開拓を担う

生産者が技術獲得と生産に専念でき、大量生産した魚を速やかに出荷することが可能に

**【生産サイクル 好循環】**



### 3. 期待される効果

- ・過去-屋内無泥養殖ドジョウという新食材によって、競争相手のいない新たなマーケットを拓く
- ・現在-後発業者の新規参入に備えるため、好条件の販路を確実に傘下に収めていく
- ・未来-いずれ来る価格競争に備えて、アドバンテージのある間に個々のニーズに対応した製品開発を!

### 4. 担当機関連絡先

水産研究部 浅海内水面・グループ 内水面チーム  
TEL: 0978 - 44 - 0329  
住所: 宇佐市安心院町荘42